

◆中国 湖南省便り◆

2011年 7月 4日

長沙に空の時代がやってくる

今年の7月に新しい空港ターミナルの運用が始まります。

今回は、その空港の概要をお伝えしたいと思います。

2010年の長沙黄花空港の旅客取扱量は延べ1262.13万人で、貨物の取扱量は10.86万トン、11.49万機が離着陸しており、中部地区（山西省、安徽省、江西省、河南省、湖北省、湖南省）で第1位、全国の空港で第12位の取扱量でありました。その中で、国際旅客の取扱量は延べ51.26万人に達していて連続7年で、その他の中部の5省の総計を上回っているそうです。

今年5月末までの長沙空港の旅客の取扱量の順位は全国の第12位、中部地区の第1位で、長沙黄花空港の拡張(増築)工事は2006年7月から開始されており総投資額は43億元にのぼります。

現在、3200メートルの滑走路や滑走路の延長工事など11種類32項目のプロジェクトが行なわれており、747型機（ジャンボジェット機のこと）や同類機およびそれ以下の機種にも使用できるように備えているようです。

このように新しいターミナルも完成し長沙は空の時代がやって来たと思われるます。

これは、湖南省が順調に経済発展しており、かつ今後も湖南省がもつ経済発展可能性が大きいことかがい知る一つの指標であると思われるます。特にジャンボジェット機が離着陸可能となることは、物流がますます盛んになる可能性を秘めています。

